産業建設常任委員会資料
都市安全部　公園河川課

議案第 143 号
工事請負契約（宝塚文化芸術センター庭園整備工事（その３））の変更について

資料５　欄干移設に関する専門家の意見を踏まえた対応方針

11 月 28 日に開催された産業建設常任委員会②でのご意見「旧宝塚植物園時代から設置されていた欄干と水辺の再生にあたり、既存欄干の老朽度を踏まえた欄干移設に関する専門家の意見」について、下記のとおり対応、検討を行いました。

１　専門家の意見

○(株)Ｅ－ＤＥＳＩＧＮ（イーデザイン）：庭園整備基本設計・実施設計策定業務事業者

（意見）

既存の親柱を新設欄干とともに欄干前のレンガ舗装スペースを囲む形で連続性を意識して配置し、メインガーデンを背景にたたずむアイストップが良いのではないか。その際、スペースも限られているため、存在感のある親柱は窮屈に感じないよう設置本数に配慮する必要がある。

（イメージパースの作成）

上記意見を具体化したイメージパース（裏面参照）を作成

○兵庫県立大学　自然・環境科学研究所　環境計画部門　赤澤宏樹教授：基本設計策定に係る

有識者等検討会委員

上記イーデザイン意見、イメージパースを基に、

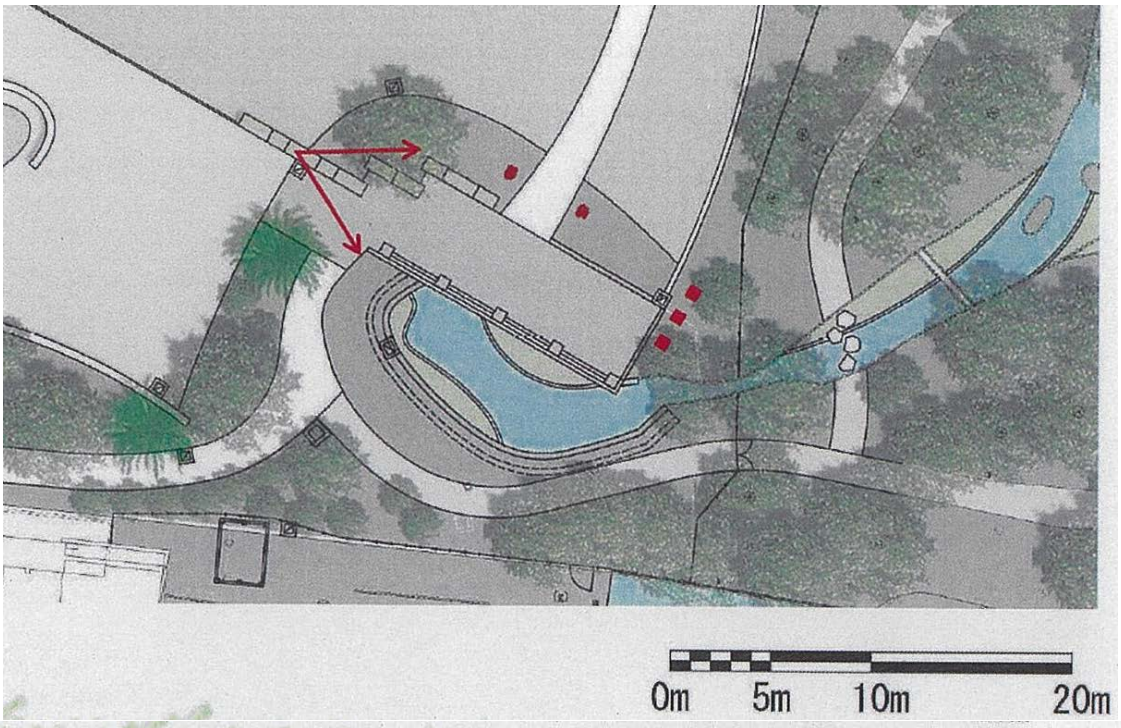
（意見：現地立ち合い時）

新設欄干との連続性を確保することや周辺の景観とのバランスを考えると、既存親柱を等間隔（1.5m 程）に配置することで欄干のイメージが継承できる。敷地の制約や親柱の大きさから 3 本位の設置が適当だと考える。なお、親柱は補修せず、現状のままの方が良い。

２　欄干（親柱）移設の検討

裏面イメージパース参照

３　今後の対応方針

欄干の新設及び遺構モニュメント 2 基の設置を行ったうえで、専門家の意見を踏まえ、新設欄干前のレンガ舗装スペースを囲む形で親柱 3 基の設置を検討する。

イメージパース